【研修報告】

令和４年度 第３回 在宅医療･介護関係者研修会を開催しました

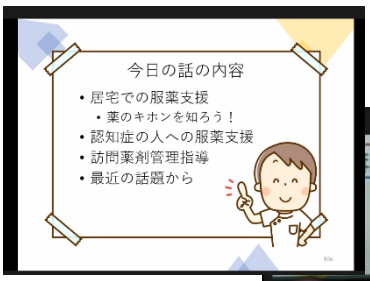
諫早市在宅医療･介護連携支援センター かけはしいさはや

『認知症患者の服薬支援』

令和４年９月 16 日 19 時～20 時

講師：池田 理恵先生

こはく堂薬局 管理薬剤師



今回は諫早市薬剤師会様よりご協力を得て、昨年度もご講義いただいた池田理恵先生をお迎えし、研修会を開催しました。オンライン、会場合わせて約 85 名の方にご参加いただきました。

在宅で認知症の方を支援されている方の中には、服薬に関する認知症ならではの難しさを感じている方も多くいらっしゃったのではないでしょうか。

池田先生からは、認知症の方の対応における２つの原則を理解し、服薬に関する情報を多職種で共有し、正しい薬の知識を持って、課題に対して介入策を一緒に考えることも大切というお話がありました。情報共有ツールとしてお薬手帳の活用も紹介され、「なるほど！」と思うことばかりでした。今回の研修で、たくさんの知識を得ることが出来ましたが、今後も服薬に関する困りごとは、気軽にかかりつけ薬局等へご相談されてみてはいかかでしょうか。

参加者の感想(一部抜粋)

・認知症利用者様の薬剤管理には、多職種や複数のサービスの連携をとりながら、情報共有や様々な視点からの工夫の大切さを認識できました。

・認知症の方が薬を飲んだ、飲まないで困ることが多々ありますが、２つの原則は初心に帰る言葉でした。今後、代用方法など工夫していきたいと思います。

・認知症の方で、処方の見直しを行えれば薬が飲みやすくなるのではと思うことが何度かありました。しかし、在宅で経過をみながら変更していくことは難しいと思ったことや、このような相談をしていいものだろうかとも考え、実際に相談には至りませんでした。今回の成功例の紹介から、今後は多職種の皆さんで、まずは相談することができたらと思いました。

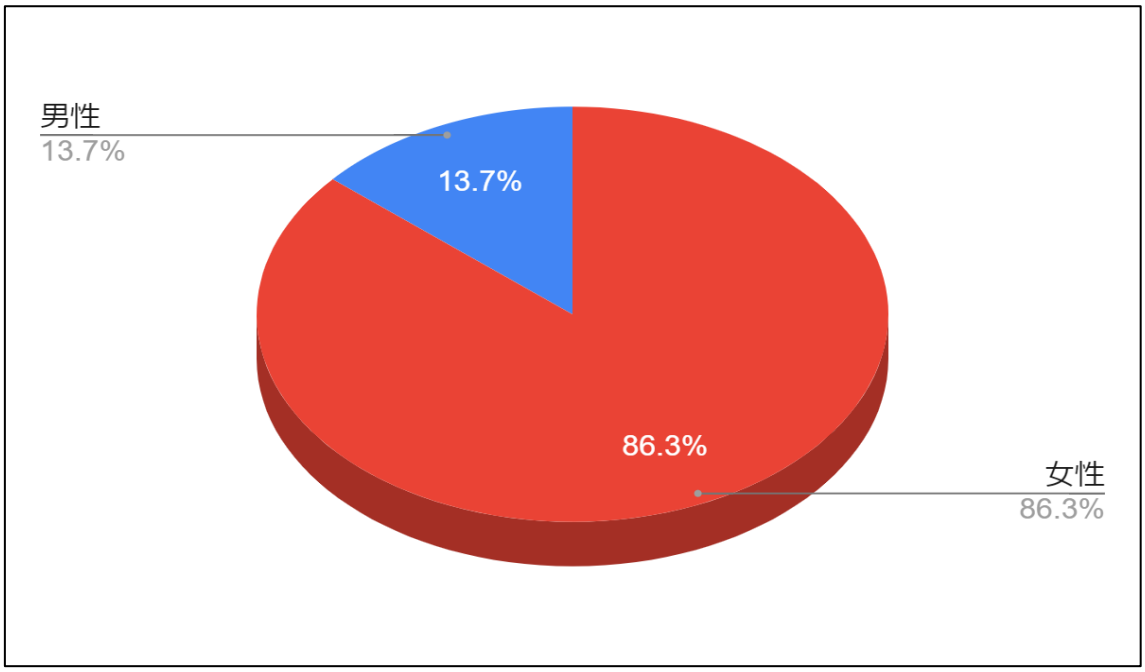
次回は 11 月に歯科医師の増山先生の研修会を開催予定です

令和４年度　第３回在宅医療・介護関係者研修会（zoom・会場）

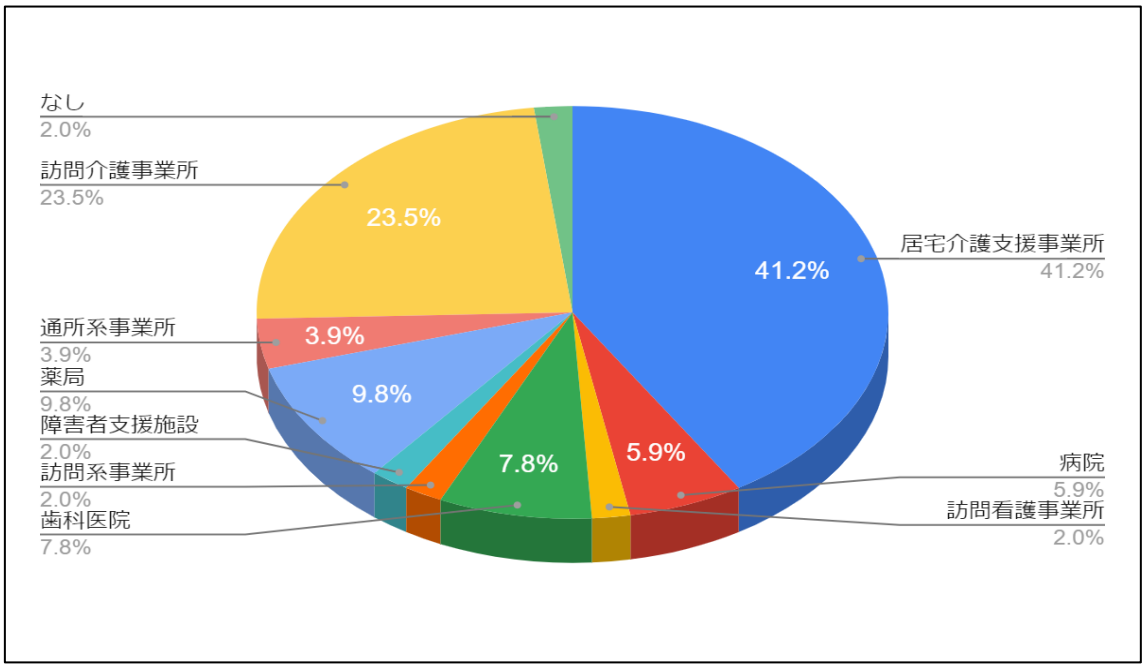
『認知症患者の服薬支援』アンケート結果

参加者 85 名　回答者数：51 名（回収率 60%）

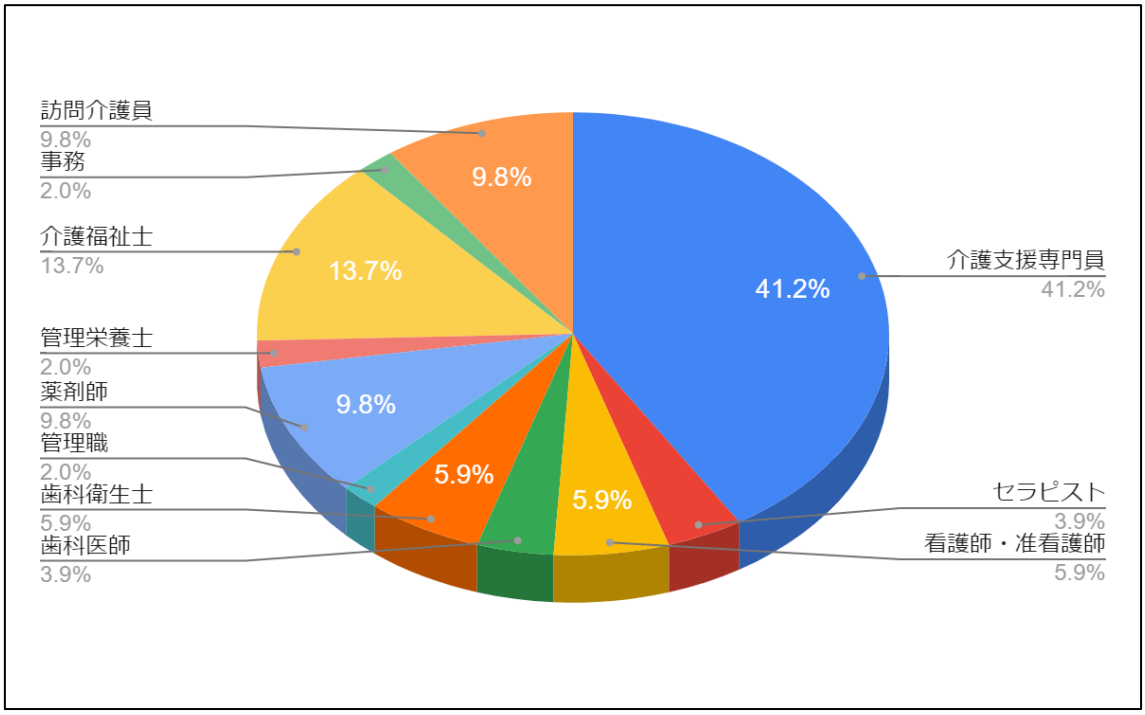
１．　性別（男性　7 名/女性 44 名）



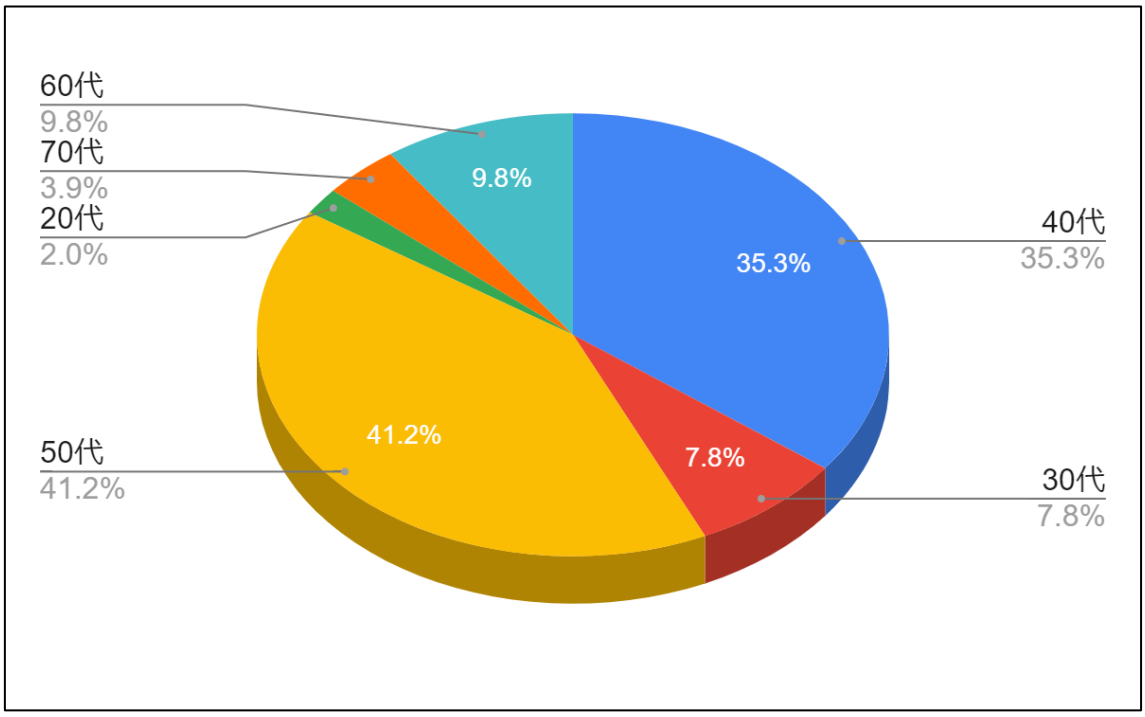
２．所属



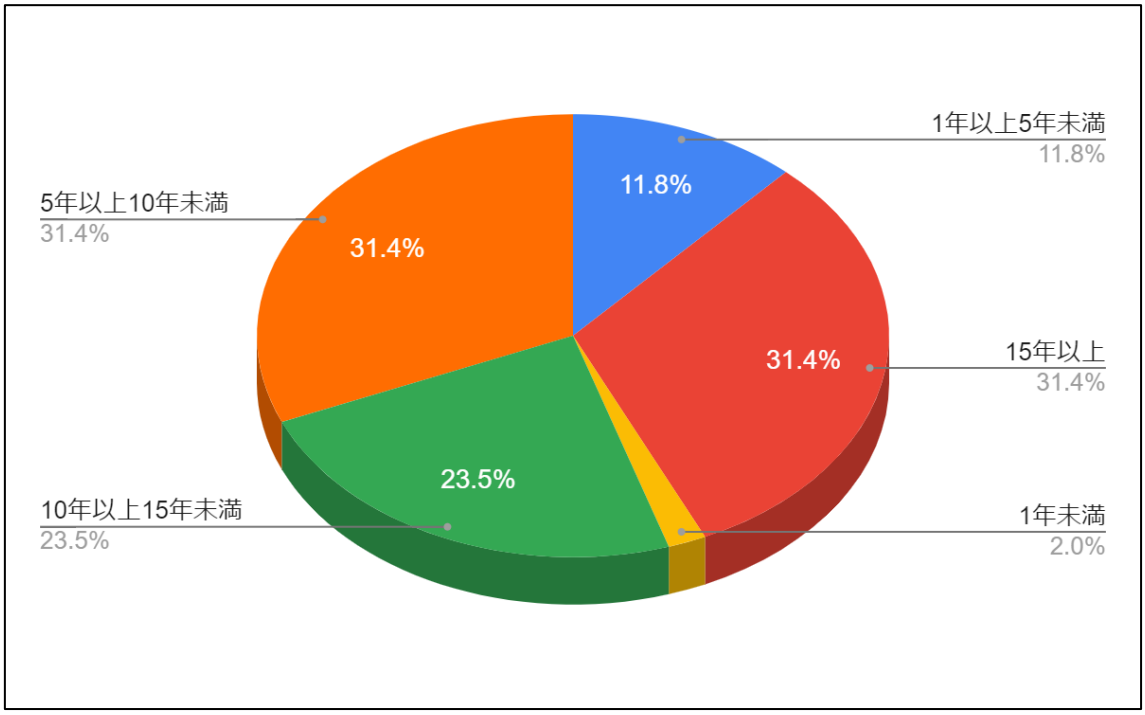
3．職種


訪問介護員
9.8%
事務
2.0%
介護福祉士
13.7%
管理栄養士
2.0%
薬剤師
9.8%
管理職
2.0%
歯科衛生士
5.9%
歯科医師
3.9%
介護支援専門員
41.2%
セラピスト
3.9%
看護師・准看護師
5.9%
9.8%
13.7%
41.2%
9.8%
5.9%
5.9%

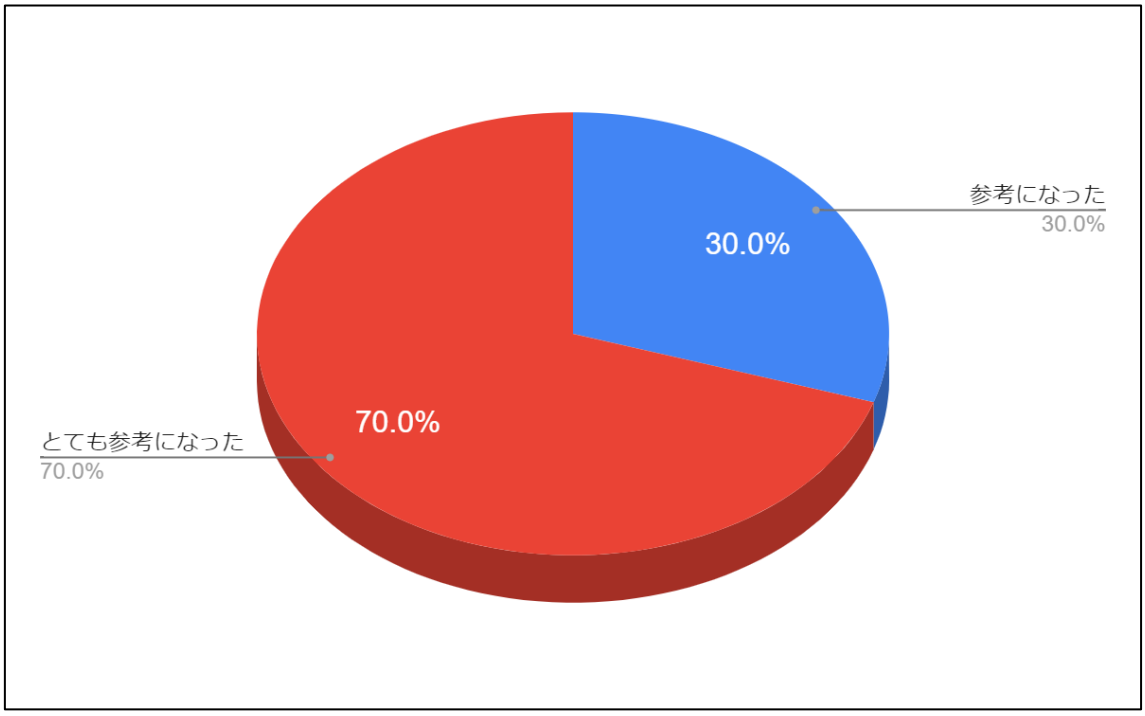
4．年齢


60代
9.8%
70代
3.9%
20代
2.0%
50代
41.2%
40代
35.3%
30代
7.8%
9.8%
35.3%
41.2%
7.8%

5．職場の経験年数



6．本日の研修内容はいかがでしたか



７．本日の研修の感想をご自由にお書きください。

・病棟勤務 １ 年未満の看護師です。認知症の患者さんと関わる上で、内服を拒否される場面がありどのように対応すればいいのか戸惑ってしまった経験があります。本日の研修を受講し、患者さんの立場に立ってなぜ薬を飲みたくないと思っているのかを探し、どうすれば内服していただけるのか考えていくことが大切だと学びました。また、退院支援を行う上で患者さん自身やご家族が、どのような方法を取れば内服を継続できるのかご本人とご家族に合った方法で考えて行きたいです。池田先生のお話に引き込まれて、あっという間の １ 時間でした。ありがとうございました。

・自分のズームの入室方法に誤りがあったようで、音声が聞こえず残念でした。

・詳しくわかりやすいお話しでした。ありがとうございました。

・薬について知識を深めることができて大変よかった。

・在宅介護事業所の為服薬管理は薬剤師と連携していますが 知識として大変学ぶ事がありました。

・丁寧でわかりやすいご講演ありがとうございました。とても勉強になりました。

・最後にお知らせ頂きました宣伝良かったです。他のケアマネにもつたえます。 何か困った時には相談させて頂きますね。 研修ありがとうございました。

・お薬と食事は関係性が深いと思っています。詳しい薬名を聞けて勉強になりました。 もう一度受講したいです。

・池田先生の切り口が、いち薬剤師とだけでなく、居宅に関わるものとして、大変気付かされる事が多く参考になる。

・認知症の方への対応の心得もですが高齢者の方どなたにも当てはまる服薬の研修 介護世代の方は皆さん聞きたいのではないでしょうか？また、薬局で相談をしても残念ながら Dr.に相談してください。と軽くあしらわれてしまうことがあるのも事実です。 先生から嫌われないのも大事ですが家族が嫌われてはもっと大変。偽薬、出したふりをしていただけたらなぁーと思うのも本音です。

・こちらの問題ですが、zoom が上手く接続できず最初から話を伺えなかったのがとても残念でした。

・とても解りやすい内容でした。 服薬の課題のある方の支援の参考にさせていただきます。

・丁寧に噛み砕いたお話で分かりやすかった。

・本日は、貴重な講演ありがとうございました。服薬管理の 3 つの問題は、現場でもよく話題になる事があります。 今回の話にもあった、「記憶に無ければ事実ではない」「本人が思ったことは、絶対的な事実である」を念頭に置き、一度認めて安心する対策を薬の知識を踏まえて、取り組みたいと思います。貴重な講演ありがとうございました。 明日からの実践に繋げたいと思います。

・介護世代の方は聞きたいお話だったと思います。この研修に参加できた事に感謝です。

・服薬支援について、分かり易い説明で良かったです。ありがとうございました。

・薬のゴーストピルなんて、初めて知りました。 分からないことが多いので、これからも薬剤師さんに相談しようと思いました。

・テーマが現在悩んでいることにピッタリでした。

・認知症の方が薬を飲んだ、飲まないで困ることが多々ありますが、2つの原則は初心に返る言葉でした。今後、代用方法など工夫していきたいと思います。ありがとうございました。

・とても分かりやすく勉強になりました。ありがとうございました。

・認知症の方で、処方の見直しを行えれば薬が飲みやすくなるのではと思う事が何度かありました。しかし、在宅で経過を見ながら変更していく事は難しいと思った事やこのような相談をして良いものだろうかとも考え、実際に相談には至りませんでした。 今回の成功例の紹介から、今後は多職種の皆さんで、まずは相談する事ができたらと思いました。 今後、支援する上で、今後の研修で伺った内容を参考にさせていただきながら、認知症の方の服薬介助を含め、取り組んでいければと考えています。本日はご講義、大変ありがとうございました。

・認知症利用者様の薬剤管理には、多職種や複数のサービスの連携をとりながら、情報共有やさまざまな視点からの工夫の大切さを認識できました。ありがとうございました。

・認知症の治療薬について、詳しく聞くことができた。薬に関して疑問に思うことは今までもあったが、今後は薬剤師に相談をしていきたい。

・日頃から、ケマアネ業務において、薬剤師さんに大変お世話になっています。ケアマネのアセスメントをしっかり行う必要があると感じました。お薬を服用していただくための方法、お薬を何度も要求されるときの偽薬の活用。形態の変更。たくさん学びました。ありがとうございました。

・研修の資料、説明とても分かりやすく大変勉強になりました。今回学んだことをこれからのケアに活かしていけるよう改めて意識して行きたいと思いす。

・薬剤師の方に相談することで解決できる可能性もあるので、積極的に相談できればと感じました。

・内服薬は服用時間等によって、また、多剤服用によっての作用の変化があることが分かりやすかった。また、単につぶして飲みやすくするというだけでは支障があることも分かったので、今後は薬剤師さんに相談したいと思う。

・認知症の方の服薬支援は難しく、こちらが「飲んでいますか」と聞いても、中々正確に把握できないのが現状です。訪問薬剤師の訪問を利用することで、管理や確認はもちろん、飲み忘れ等の把握できること。きちんと服薬することでご利用者がより良い生活が送れるようになると感じました。

・薬剤師と密に連携を図っていきたいと思った。

・認知症患者の服薬支援で、本人が医師の指示通り服薬できない理由等を探り、状態に合わせて、カレンダーやボックス等での内服管理や本人に気づきを与えたり、飲み忘れ予防等の工夫をされていた。多職種連携で服薬可能となった事例等の話もあり、改めて、多職種連携と情報共有の重要性を感じ、今まで以上に本人が安心して生活できるように支援していきたいと思います。

・認知症の方の服薬は、いつも悩みます。その中でもご家族から『飲んだのに飲んでないと言う。』とよくお話を聞きます。今回の研修で「本人が思ったことは本人にとって絶対的な事実であること」と聞き、基本的な事を忘れている自分に気が付きました。どうしてもご家族からのお話で困っていると話されるとご家族側の考えになってしまいます。もう一度ご利用者の気持ちを考えて行動しようと思います。また、ご家族へも今回の研修で学んだことを伝え、その方にあった方法を見つけていきたいと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。

・人によって飲みやすい形状が違うことが分かりました。飲みにくいことがあれば、薬剤師さんに相談していきたいと思います。

・お薬はその人によって飲み方を変えられる。薬によっては割ったらダメな物がある。薬の効果も症状に応じて早く効かせたり、時間をかけて効かせたりできる。など、勉強になりました。悩まないで相談していきたいと思いました。ゴーストピルという言葉を初めて耳にしました。知らない事がまだ沢山あると思います。また、研修をお願いします。

・認知症の利用者さんもいらっしゃるので、服薬支援の仕組みや考え方、方法を教えていただき助かりました。

・参考になりました。

・薬💊を飲んでいない時偽薬を活用する方法は目新しく感じた。

・認知症介護における2つの原則、改めて勉強になりました。「ポリファーマシー」初めて聞く言葉でした。勉強になりました。

・認知症の方の服薬支援の仕方や工夫の説明がわかりやすかったです。 服薬が難しい利用者様の介護担当を経験したことは無いので、今後そのような方の担当になった場合の参考にさせていただきたいと思います。

・薬の専門的なことは難しかったけれども、参考になりました。薬を飲ませる方法とか。印象に残っているのは認知症の人の介護における 2 つの原則です。柔軟な介護が必要なんですね。